

# 24場出場予定選手&展望



江戸川 4/24 ~ 4/29	
あきる野市 市制施行30周年記念・ゴールデンカップ	
◎	大池 佑来 渡邊 雄朗
○	前沢 丈史 若林 将
△	佐藤 大佑 寺本 重宣
×	渡辺 豊 加藤 政彦
注	小林 泰 若林 樹蘭

**江戸川・鉄兵が不在で戦国ムードのGWシリーズ!**  
 石渡鉄兵がマスターズC周りで、今回の江戸川GW節は絶対の主役は不在。当地副将格の大池佑来や、平和島周年で自身初のGI優出も果たした渡邊雄朗も勢いに乗る。一時期の覇気を取り戻しつつある前沢丈史。原稿時点では結果は不明も、若松クラシックに参戦した若林将もSG戦士の風格を見せるか。

桐生 5/1 ~ 6	
第52回上毛新聞社杯	
◎	毒島 誠 土屋 智則
○	関 浩哉 椎名 豊
△	江口 晃生 久田 敏之
×	金子 拓矢 上村 純一
注	金子 賢志 永田 秀二

**群馬のスター勢ぞろい MVP 毒島誠は好調持続**  
 毒島誠は昨年GP初制覇で賞金王、最優秀選手、記者大賞に輝いた。今年も正月の群馬ダービーV、3月の尼崎周年と平和島周年でGI連覇を果たし、勢いは止まらない。2月の戸田GI地区選を制した土屋智則、関浩哉に椎名豊もシリーズを盛り上げる。3月の当地で準パーフェクトVの江口晃生も実に怖い。

江戸川 5/7 ~ 5/12	
第49回サンケイスポーツ杯	
◎	山田 哲也 海野康志郎
○	永井 彪也 佐藤隆太郎
△	栗城 匠 佐々木完太
×	三嵩 誠司 清水 敦揮
注	岡村 慶太 中島 秀治

**山田哲也&海野康志郎を中心に攻撃型が集結!**  
 激節中核には地元の山田哲也と、波乗りもしっかりこなす海野康志郎。実績も加味した総合力という面で、この両名が節中核。ただ永井彪也、佐藤隆太郎、栗城匠ら東京の若手勢力も、モーターの引きと展開一つで節主演となる実力者。ベテラン勢では三嵩誠司と清水敦揮。共に江戸川戦の実績も十二分だ。

戸田 4/19 ~ 24	
にっぽん未来プロジェクト競走 in 戸田	
◎	岩瀬 裕亮 柴田 光
○	松田 祐季 大上 卓人
△	中村 尊 山田 雄太
×	浜先 真範 永田 秀二
注	葛原 大陽 和田 拓也

**当地好相性の岩瀬裕亮が中心**  
 岩瀬裕亮は当地2Vと実績はまずまず。鋭いさばきでまとめてくる。柴田光は今年1月のシリーズでは優勝戦1号艇で6着に敗れており、リベンジ戦となる。実戦足を整えて機敏にまとめる。松田祐季、大上卓人も一般戦なら主力の存在。当地でGI V歴がある永田秀二や今期好調の浜先真範も侮れない。

平和島 4/13 ~ 18	
マクール杯 ヴィーナスシリーズ第2戦	
◎	平山 智加 實森 美祐
○	長嶋 万記 寺田 千恵
△	廣中智紗衣 今井 裕梨
×	前田 紗希 櫻本あゆみ
注	関野 文 刑部亜里紗

**実績十分の平山智加、勢いある實森美祐もV候補**  
 総合力から平山智加が本命。当地では23年に圧倒的な力を見せて優勝した実績も。實森美祐は地区選での優出実績が光る。当地ではエース機だった前回の活躍が記憶に新しく、また水神祭を挙げた思い出水面。長嶋万記は参戦回数こそ減少したが、元は当地好相性。廣中智紗衣も当地好走型だけに軽視禁物。

戸田 5/1 ~ 6	
第36回ウインピーカップ	
◎	桐生 順平 佐藤 翼
○	中澤 和志 中田 竜太
△	黒井 達矢 飛田 江己
×	須藤 博倫 浜田亜理沙
注	島田 賢人 畑田 汰一

**絶対的エースの桐生順平が不動の本命**  
 今年のGW戦はオール埼玉支部、男女混合で争われる。中心は桐生順平。6月には当地でSGグラチャンが控えているだけに、調整から全力を注いできっちり結果を残すはずだ。パワーで優位に立ちそうなのが佐藤翼。中澤和志、中田竜太も総合力は高い。急成長を遂げている飛田江己にも注目したい。

平和島 4/21 ~ 24	
第28回日本財団会長杯	
◎	中田 竜太 吉田 拓郎
○	小池 修平 北野 輝季
△	森永 淳 吉川 喜継
×	金子 賢志 松井 洪弥
注	松下 一也 内堀 学

**中田竜太、吉田拓郎が2大勢力。小池修平も注目**  
 当地周年ウイナーの中田竜太、強スタートから柔軟にさばく吉田拓郎が2大勢力。小池修平は2月に当地をはしったばかりで、その時は行き足を仕上げた優勝。当節もイメージ良く走れそう。北野輝季は長欠明け2節目に優勝してリズム回復中。谷野錬志も参戦するが、期末のF2持ちだけに割り引き評価。

戸田 5/9 ~ 12	
住信SBIネット銀行賞	
◎	磯部 誠 原田才一郎
○	向後 龍一 大峯 豊
△	今泉 友吾 若林 将
×	白水 勝也 佐藤 博亮
注	中野 希一 青木 蓮

**さばき上位は磯部誠 直線系仕上げる原田才一郎**  
 磯部誠がシリーズを牽引する。3月のGI常滑周年を制するなど、決定力は断然。当地はやや苦手意識があるが、一般戦ならさばきで圧倒するはずだ。直線系を仕上げて攻撃的に運ぶのが原田才一郎。大峯豊もエンジン出しは優秀だ。地元勢は向後龍一を筆頭に、成長著しい中野希一、青木蓮が迎え撃つ形。



# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

桐生：スポーツ報知・佐々木伸  
 戸田：ガイド・長谷川  
 江戸川：ガイド・野添  
 平和島：ガイド・長船  
 多摩川：マクール白川  
 浜名湖：MOCHI

<b>多摩川</b>	<b>5/6 ~ 10</b>	
第62回サンケイスポーツ賞		
◎	田中 和也	権藤 俊光
○	吉川 貴仁	長岡 良也
△	前沢 丈史	大須賀 友
×	尾上 雅也	中村 泰平
注	小池 哲也	廣瀬 真也

**今期絶好調の田中和也がシリーズをリードする**

田中和也と権藤俊光の大阪コンビが主力。特に田中は昨年秋から好調で今年も大村と若松で優勝した。多摩川との相性も良く、シリーズをリードしそう。吉川貴仁や長岡良也、大須賀友は外コースでも一発力がある。勢いがついたら止まらない尾上雅也や前沢丈史、廣瀬真也の地元勢の活躍からも目が離せない。

<b>平和島</b>	<b>4/27 ~ 30</b>	
B T S 黒石開設16周年記念・ウェーブ21杯		
◎	君島 秀三	前田 篤哉
○	権藤 俊光	竹田 和哉
△	中田 元泰	中越 博紀
×	大須賀 友	佐々木翔斗
注	中村 有裕	渡辺 真至

**傑出した存在が見当たらず、混戦シリーズの様相**

やや小粒なメンバー構成に見えるが個性派が集結。君島秀三は本来の速攻レースに加えて円熟味も増す近況。一般戦を走ればV候補。前田篤哉も一般戦では優出常連。権藤利光はF2持ちだが2月地元住之江でV。本来の実力的にはNo.1。香川勢では竹田和哉、中田元泰も優出候補に。中越博紀は前回当地V。

<b>浜名湖</b>	<b>4/15 ~ 20</b>	
ルーキーシリーズ第9戦 スカパー！・JLC杯		
◎	末永 和也	飛田 江己
○	石原 翼	島川 海輝
△	前田 篤哉	常住 蓮
×	西岡 顕心	原田才一郎
注	中山 翔太	山口 晃朋

**実績断然の末永和也が優勝争いを引っ張る**

今開催から新モーターが使用される。ここに入れば、GI2Vの末永和也の存在感が断然。貴禄の違いをまざまざと見せつけるか。飛田江己は今期に入って3度の優勝を飾るなど、すっかり本格化しただけに好勝負は必至だ。石原翼は前回の当地戦で手痛いフライングを切るも地元の意地で遠征陣を迎え撃つ。

<b>平和島</b>	<b>5/3 ~ 8</b>	
第1回京急開発グループ杯		
◎	齊藤 仁	石渡 鉄兵
○	作間 章	三角 哲男
△	飯島 昌弘	中村 尊
×	角谷 健吾	一瀬 明
注	後藤 翔之	三浦 敬太

**3月の周年メンバーから齊藤仁、石渡鉄兵が参戦**

オール関東勢同士によって覇権が競われるGW決戦。3月の周年参加メンバーでもある石渡鉄兵、齊藤仁が主役。周年でも活躍した齊藤にはズバリV候補としての期待がかかる。三角哲男、作間章はいぶし銀の走り。埼玉勢では飯島昌弘と中村尊がV争い参加。共到的確なスタートを決めながら自在にさばく。

<b>浜名湖</b>	<b>4/24 ~ 29</b>	
中日新聞東海本社杯		
◎	篠崎 仁志	吉田 裕平
○	仲口 博崇	野中 一平
△	木下 翔太	上田 龍星
×	吉川 昭男	木下 翔太
注	池田 雄一	田路 朋史

**愛知勢VS篠崎仁志**

愛知勢の陣容が強力だ。中でも吉田裕平にかかる期待は大きい。攻守にワンランク上の手腕をふるう。野中一平の大胆なスタート攻勢も魅力いっぱいだ。仲口博崇は当地で2連続で優出中。相性の良さは見逃せない。対するは篠崎仁志。当地前回はエンジン出しに手こずっただけに、リベンジを果たしたい。

<b>多摩川</b>	<b>4/18 ~ 23</b>	
第60回東京スポーツ賞		
◎	北山 康介	片橋 幸貴
○	君島 秀三	畑田 汰一
△	野口 勝弘	前田 聖文
×	藤山 翔大	川北 浩貴
注	藤原 仙二	中井 俊祐

**好調北山康介に実力派の滋賀支部勢が襲い掛かる**

3月中旬時点で7点台後半の勝率を残す北山康介が優勝候補。走り慣れた地元プールで優勝を決めるか。川北浩貴、君島秀三、片橋幸貴、藤原仙二ら滋賀支部からも楽しみな面々が集結し上位争いを演じる。藤山翔大は昨年10月の当地戦をインで敗れてしまっただけにリベンジに期待したい。

<b>浜名湖</b>	<b>5/2 ~ 7</b>	
浜松市長杯争奪戦 やらまいかカップ		
◎	菊地 孝平	河合 佑樹
○	徳増 秀樹	深谷 知博
△	服部 幸男	坪井 康晴
×	伊藤 将吉	若林 義人
注	山田 雄太	三浦 永理

**激戦必至のV争いだが、中心は菊地孝平だ**

菊地孝平の今年のテーマはグランプリを走れなくても賞金ランク18位に入ること。つまり、F休み明けからの開催は全て優勝する気構えでいる。決して簡単なことではない。ましてやオール静岡だが、菊地ならやっつけそうな気がしてならない。河合佑樹は念願のオール静岡Vへ今度こそその思いで臨む。

<b>多摩川</b>	<b>4/26 ~ 5/1</b>	
第32回多摩川さつき杯		
◎	長田 頼宗	宮之原輝紀
○	濱野谷 憲吾	佐藤隆太郎
△	山田 哲也	永井 彪也
×	梶野 学志	杉山 貴博
注	倉持 莉々	藤田 俊祐

**長田頼宗、濱野谷憲吾、宮之原輝紀が主力**

GWの多摩川は東京3場の中でもっとも強豪メンバーがそろいやすい。今節も3月に当地で優勝したばかりの長田頼宗や前年覇者の宮之原輝紀が出場。濱野谷憲吾も17回目の当地制覇へ気合を入れる。記念戦線でもまれ、たくましさを増す佐藤隆太郎や藤田俊祐にSセンス抜群の山田哲也も要注意だ。



常滑		4/18 ~ 22	
中京スポーツ杯争奪全日本ファイターキング決定戦			
◎	田中 和也	吉田凌太郎	
○	長田 頼宗	鈴谷 一平	
△	佐々木翔斗	村上 遼	
×	妹尾 忠幸	上田 健太	
注	竹田 和哉	中田 元泰	

**吉田凌太郎が田中和也・長田頼宗らを迎え撃つ**

田中和也と長田頼宗は今年2優勝。一般戦を走れば当然、主役級の扱いが必要だ。田中はエンジン出しが上手いし、走りにも安定感。長田は時には強烈な攻めを繰り出す。迎え撃つ地元勢は吉田凌太郎に上田健太。スピードはやっぱり吉田が上。近況1着量産で勝率7点オーバーの鈴谷一平にも視線を向けたい。

蒲郡		4/11 ~ 15	
名古屋グランパスCUP			
◎	守屋 美穂	金子 拓矢	
○	市橋 卓士	佐々木康幸	
△	中岡 正彦	安達 裕樹	
×	中野 仁照	宇佐見 淳	
注	鎌倉 涼	中村 尊	

**守屋美穂がリードも金子拓矢や市橋卓士も難敵**

守屋美穂は昨年12月の下関ALから3月の尼崎ALまで9連続優出1V。安定感は群を抜いている。地力の高い金子拓矢、市橋卓士は一般戦では常に中心的存在。佐々木康幸も当地ではSGV歴がある。A1級勝負になりそうなのが宇佐見淳と中野仁照。地元の利を生かして気合の入ったレースを披露するか。

常滑		4/25 ~ 30	
第19回日本モーターボート選手会会長賞争奪戦			
◎	濱崎 直矢	重成 一人	
○	木村 仁紀	近江 翔吾	
△	清水 敦揮	安達 裕樹	
×	田村 隆信	松山 将吾	
注	田中 駿兵	中村 晃朋	

**パンチカの濱崎直矢、テクニックなら重成一人だ**

近況Vラッシュの濱崎直矢。今年のVはすでに3回を数えるが、今期の白星は他の主力選手の倍ぐらい重ねている。行き足・伸びを仕上げての攻撃レースで今回も主役を務める。ハンドル捌きなら重成一人。的確なコーナー戦で好勝負を演じる。木村仁紀・近江翔吾も虎視眈々。ネームバリューなら田村隆信だ。

蒲郡		4/18 ~ 23	
日本財団会長杯争奪戦			
◎	菊地 孝平	久田 敏之	
○	秋元 哲	高野 哲史	
△	佐藤 大介	石橋 道友	
×	安河内 将	下寺 秀和	
注	後藤 翔之	後藤 正宗	

**菊地孝平の再出発に久田敏之、秋元哲らが迫る**

F休み明けの菊地孝平が参戦。しばらくは主戦場を離れるが、全てをプラスに変えて更に大きくなる姿を見たい。今期は6優出3Vの秋元哲。鳴門、丸亀、宮島と瀬戸内で成果を挙げて来た。安定感なら今期7優出の久田敏之。戸田と鳴門でVを決めている。地元では佐藤大介がA1級キープへ躍動するか。

常滑		5/3 ~ 8	
中日スポーツ杯争奪第45回チャンピオン大会			
◎	池田 浩二	吉田 裕平	
○	北野 輝季	中野 仁照	
△	赤岩 善生	杉山 正樹	
×	野中 一平	前田 聖文	
注	前田 篤哉	鰐部太空海	

**エース池田浩二に吉田裕平が真っ向勝負**

今年早くも4回目の常滑参戦となるエース池田浩二。過去3回で意外にもVがないが、今度こそスーパースターの走りを見せてくれるはず。世代交代を狙う吉田裕平が真っ向勝負。中野仁照にもその期待を持ちたい。当地の安定感なら北野輝季。蒲郡からの刺客は赤岩善生。ガッツあふれる走りで盛り上げる。

蒲郡		4/29 ~ 5/4	
中日スポーツ賞第54回竹島弁天杯			
◎	磯部 誠	平本 真之	
○	岩瀬 裕亮	前田 滉	
△	杉山 裕也	鈴木 勝博	
×	柳沢 一	佐藤 博亮	
注	黒野 元基	永井 源	

**好調な磯部誠と平本真之がツートップ**

昨年はグランプリ出場を逃した磯部誠だが、今年は常滑周年Vを含む4優出2Vとリズムは上々だ。対する平本真之は今年3回目の当地参戦。調整面のアドバンテージを生かしたい。今期は下関、三国で優勝の岩瀬裕亮は自己最高勝率に迫る勢い。柳沢一と黒野元基は現時点ではA1級ボーダーに届いていない。

津		4/19 ~ 24	
津オールレディースマクル杯			
◎	浜田亜理沙	守屋 美穂	
○	細川 裕子	宇野 弥生	
△	喜井つかさ	魚谷 香織	
×	中川 りな	川井 萌	
注	勝浦 真帆	土屋 千明	

**浜田亜理沙、守屋美穂に成長株の川井萌が挑む**

実績面から見ても浜田亜理沙、守屋美穂の2強が抜けておりマッチレースの様相。だが細川裕子と宇野弥生といった愛知コンビも決め手十分。特に宇野は昨年度の大会を制し連覇を期す今回。2月の浜名湖スピードクイーンで存在感を高めた川井萌の走りに注目。急激に力をつけており2回目の優勝も現実的だ。

蒲郡		5/8 ~ 11	
蒲郡市観光協会会長杯争奪戦			
◎	白井 英治	宮地 元輝	
○	上野真之介	村上 遼	
△	今井 貴士	佐藤 大介	
×	渡辺 真至	田中 豪	
注	山田 丈	豊田 結	

**白井英治の蒲郡連続Vに待ったをかけるのは誰か**

白井英治は今年の始動戦だった1月の当地戦で圧巻のV劇。再現を狙って貫禄を示すか。九州地区のA1級カルテットが白井に襲い掛かる。宮地元輝は絶品ターンを駆使してV争いへ。7点台後半のアベレージを残す上野真之介も優勝候補の一人。短期戦だけに村上遼や今井貴士もモーター次第ではV圏内。

# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

蒲 郡：スポーツ報知・太田和良  
 常 滑：とこなめ情報 土井勇士  
 津 国：中日スポーツ・高橋  
 三 国：実況アナウンサー・高橋敬亮  
 びわこ：サンケイスポーツ・倉橋智宏  
 住之江：安達弘持

<b>三国</b>	<b>5/2～7</b>	<b>GW時期恒例！ 地元勢を中心に熱い6日間！</b>
<b>GW三国ボートフェスタ</b>		GW時期恒例の6日間節。地元勢中心に白熱したバトルが繰り広げられる。やはり注目は地元の総大将の今垣光太郎。今年の三国正月レースはオール2連対でまとめるの圧巻V。今大会も主役は譲れない。地元A級のメンバーが揃い中心視も、遠征勢では進入の動きから注目の吉川昭男に注意は必要。
◎	今垣光太郎 萩原 秀人	
○	中島 孝平 松田 祐季	
△	下出 卓矢 武田 光史	
×	中辻 博訓 佐藤 悠	
注	小林 孝彰 吉川 昭男	

<b>津</b>	<b>5/1～6</b>	<b>井口佳典、新田雄史、豊田健士郎らによるV争い</b>
<b>スポーツニッポンパール賞競走</b>		今年の正月戦は井口佳典が優勝。井口は東海地区選も制しておりエースとしての役割を見せている。今年はGI戦線での活躍も光っており完全復調はもう間近だ。新田雄史はV量産態勢へ入ってきたか。逆に豊田健士郎は記念で厳しい戦いを強いられているが、反攻態勢を整えている。松井洪弥も3強へ絡む。
◎	井口 佳典 新田 雄史	
○	豊田健士郎 松井 洪弥	
△	松尾 拓 坂口 周	
×	中嶋健一郎 東本 勝利	
注	松尾 充 岡 祐臣	

<b>びわこ</b>	<b>5/1～6</b>	<b>遠藤エミが不動の主役！ 地元A1連覇へ突き進む</b>
<b>オールレディースビーナスちゃんカップ</b>		1か月半ぶりの本場開催となる新機&新艇シリーズ。V戦線を引っ張るのはもちろん地元が誇る最強女子・遠藤エミだ。剛柔自在の走りで正月に開催された前回大会に続くタイトル連覇を狙う。迫るのが寺田千恵、山川美由紀の女傑コンビ。西橋奈未、細川裕子もA1級ランカーの存在感を示したいところ。
◎	遠藤 エミ 寺田 千恵	
○	山川美由紀 西橋 奈未	
△	細川 裕子 宇野 弥生	
×	今井 美亜 勝浦 真帆	
注	小芦るり華 櫻本あゆみ	

<b>津</b>	<b>5/9～14</b>	<b>最強のA2級！ 濱野谷憲吾が登場だ</b>
<b>日刊スポーツちどり杯争奪戦 本命？大穴？男女大決戦</b>		今期はA2級へ甘んじている濱野谷憲吾だが、実力は折り紙付き。周年3回の優勝実績を誇る得意水面でもあり、圧倒的な強さを発揮か。岩瀬裕亮がターンスピードで真っ向勝負を挑む。ハイレベルな攻防に盛り上がる6日間だ。安達裕樹は調整を知る地元、野口勝弘もA1級安定株へなってきた実力を見せる。
◎	濱野谷憲吾 岩瀬 裕亮	
○	安達 裕樹 野口 勝弘	
△	上條 嘉嗣 吉永 則雄	
×	荒川 健太 池田 雄一	
注	水野 望美 塩崎 桐加	

<b>びわこ</b>	<b>5/9～14</b>	<b>1年4か月ぶり地元Vへ 馬場貴也が高速戦披露</b>
<b>滋賀県知事杯争奪 第26回ピナちゃんカップ</b>		びわこエース・馬場貴也が昨年の正月戦以来となる地元Vを目指して本領の高速ターンを連発へ。ただ、3月の時点で今年V4をマークする守田俊介はもちろん強敵になりそう。丸野一樹や昨年末に続く知事杯連覇が懸かる深井利寿もV候補の一角。昨年はGII初制覇を遂げた片橋幸貴もV争いを盛り上げる。
◎	馬場 貴也 守田 俊介	
○	丸野 一樹 深井 利寿	
△	片橋 幸貴 君島 秀三	
×	澤田 尚也 是澤 孝宏	
注	木村 仁紀 谷川 祐一	

<b>三国</b>	<b>4/14～18</b>	<b>男女混合の5日間！ 辻栄蔵がリード！</b>
<b>けーぶるちゃん。杯</b>		男女混合の5日間節、主役はSG覇者の辻栄蔵。今年地元宮島の正月レースを制覇。昨年の当地周年でも優出と三国の相性も問題なく、ここでは主役は譲れない。相手筆頭には既に4優勝を飾っている塩田北斗。今年に入って4優出1優勝の伊藤将吉や3月に桐生で優勝したばかりの森定晃史も圏内。
◎	辻 栄蔵 塩田 北斗	
○	伊藤 将吉 森定 晃史	
△	石倉 洋行 鶴本 崇文	
×	石田 政吾 山本 修一	
注	原田 佑実 佐々木裕美	

<b>住之江</b>	<b>5/2～7</b>	<b>SGレベルの豪華メンバーが一挙集結</b>
<b>2025ラビートカップ</b>		松井繁と石野貴之の二枚看板が揃って参戦。しかし、石野は怪我から復帰したがまだ本調子とは言えない。今年の本命は王者・松井繁だ。昨年は3年ぶりにGPにも復帰。大阪支部の中心選手に成長した上條暢嵩も覇権を争う。太田和美、湯川浩司、丸岡正典なども底力を秘める。若手では小池修平に注目。
◎	松井 繁 石野 貴之	
○	上條 暢嵩 太田 和美	
△	湯川 浩司 丸岡 正典	
×	小池 修平 西村 拓也	
注	岡村 仁 上田 龍星	

<b>三国</b>	<b>4/21～25</b>	<b>超豪華メンバーで争われる5日間シリーズ！</b>
<b>マクル杯</b>		SG、GIレーサーが多数参戦の5日間節、山口剛は昨年のSGグランプリシリーズでは優出2着。今年に入ってGIは下関の周年、中国地区選で優出。続いて挙げたいのは平本真之。3月に入ってGI連続優出と復調気配。この2人がシリーズを引っ張るも目移りするような豪華メンバーが集結だ。
◎	山口 剛 平本 真之	
○	渡邊 和将 河合 佑樹	
△	松村 敏 江夏 満	
×	藤原 碧生 川原 祐明	
注	高田 明 加藤 翔馬	



鳴門 4/25 ~ 30	
ヴィーナズシリーズ第3戦 マクール杯競走	
◎	岩崎 芳美 平高 奈菜
○	海野 ゆかり 鎌倉 涼
△	大瀧明日香 前田 紗希
×	實森 美祐 山下 夏鈴
注	堀之内紀代子 赤井 睦

**実力派の女子レーサーがそろって激戦必至**

地元の大将格となる岩崎芳美が主役を務める。スピードクイーンメモリアルの初代覇者となった平高奈菜も俊敏プレーを連発して優勝を見せるだろう。地力健在の海野ゆかりに、シャープな走りが頼もしい鎌倉涼もV争いを演じる。岩崎以外の地元勢では切れ味が増してきた赤井睦が特注。

尼崎 4/18 ~ 23	
サッポロビールカップ	
◎	小坂 尚哉 永井 源
○	深川 真二 市川 哲也
△	渡邊雄一郎 古澤 光紀
×	白神 優 島田 賢人
注	上條 嘉嗣 坂元 浩仁

**地元代表格の小坂尚哉が燃える**

小坂尚哉は近況エンジンを出してくる。尼崎でもVこそ逃しているが、仕上がりは早くしっかりポイントを積み重ねる。今度こそVへ。深川真二は気合満点の走りで魅了。渡邊雄一郎、白神優は流れをつかむと突き進む。メキメキ力をつけてきた上條嘉嗣にも注目。市川哲也が持ち味のスタート力で反撃を誓う。

鳴門 5/5 ~ 10	
にっぽん未来プロジェクト競走 in鳴門	
◎	林 美憲 菅 章哉
○	辻 栄蔵 田村 隆信
△	市橋 卓士 山田 祐也
×	葛原 大陽 河野 大
注	山下 和彦 堀本 和也

**地元の強豪が主力の6日間開催**

昨年度の鳴門最終開催でも優勝を競った林美憲と菅章哉が今開催でもぶつかる。そして、優勝を飾った菅は再びチルトマックスのパワフル攻撃を見せつけるか。田村隆信は地元ナンバーワンの技でVを目指す。遠征組ではSGを制した実力が光る辻栄蔵が攻守兼備の走りでシリーズを盛り上げる。

尼崎 4/25 ~ 30	
デイリースポーツ杯争奪 第36回ささら賞競走	
◎	澤田 尚也 尾上 雅也
○	中村 日向 池田 雄祐
△	深井 利寿 河野 大
×	松井 賢治 宮崎 奨
注	中島 秀治 濱野 斗馬

**当地前回Vの澤田尚也に期待**

澤田尚也は前回当地でエース機を味方にV。気分を良くして今回も参戦。速攻力から目が離せない。中村日向はV経験もあり、水面相性は良好といえる。深井利寿は近況トーンダウンも冷静沈着なハンドリングで迫る。中島秀治は上昇度では1歩リード。安定感が出てきた印象。地元では松井賢治が迎え撃つ。

丸亀 4/16 ~ 21	
にっぽん未来プロジェクト競走 inまるがめ	
◎	白井 英治 柳沢 一
○	宮之原輝紀 渡邊 優美
△	清水 愛海 白水 勝也
×	梶野 学志 中越 博紀
注	竹田 辰也 大須賀 友

**白井英治が断然の主役 次位争いは接戦カラー**

シリーズの主役の座は白井英治で不動だ。王道路線でV戦線を引っ張って行くが、完全での制覇も十分ありか。白井に迫るのがSG、GIのキャリア豊富な柳沢一。宮之原輝紀のスピード戦も無視できない。5月の当地SGオールスター初出場を決めている清水愛海が女子力発揮で気合の走りをみせる。

尼崎 5/3 ~ 8	
第57回報知金杯争奪 六甲賞競走	
◎	吉川 元浩 和田 兼輔
○	稲田 浩二 高野 哲史
△	吉田 俊彦 小坂 尚哉
×	古結 宏 馬袋 義則
注	尾嶋 一広 山本 隆幸

**地元メンバーが集結もエース吉川元浩が引っ張る**

地元中心のメンバー構成で混合戦。主役を張るのは吉川元浩。見せ場がなかった3月周年の悔しさをぶつけたい。稲田浩二も同様。持ち前のスタート力を存分に発揮する。吉田俊彦は手堅いさばきで肉薄。近況好調は古結宏。尾嶋一広、和田兼輔、高野哲史が追う。また、中谷朋子が久々の当地参戦となる。

丸亀 4/28 ~ 5/1	
報知グリーンカップ	
◎	丸野 一樹 山田 祐也
○	平山 智加 上條 嘉嗣
△	片橋 幸貴 栗城 匠
×	佐藤 大介 藤山 翔大
注	葛原 大陽 長岡 良也

**丸野一樹、山田祐也 2トップがV戦線けん引**

丸野一樹は3月の尼崎GIセンブルカップで優勝戦3着と近況のリズムは上々。一般戦ならパワーとスピードで圧倒する。四国地区チャンピオンに輝いた実績がある山田祐也も当地ならきっちりとエンジンを仕上げてくる。地元からは平山智加が迎え撃つ。上條嘉嗣は3月住之江→徳山と連続優勝。

鳴門 4/17 ~ 20	
整備棟リニューアル記念競走	
◎	山田 康二 堀本 和也
○	寺本 重宣 尾嶋 一広
△	佐々木和伸 井本 昌也
×	谷川 祐一 高岡 竜也
注	富山 弘幸 岩崎 正哉

**波乱ムードも漂う4日間シリーズ**

断然のV候補が見当たらない混戦必至の短期決戦。序盤のスタートダッシュがカギになるが、特別戦でも活躍する山田康二がシリーズの中心とみる。地元勢ではビット離れから注目の堀本和也と、ベテランの域に入ってきた佐々木和伸が走り慣れている地の利を生かして遠征組を迎え撃つ構えだ。



# 24場出場予定選手&展望

レース場担当者  
 尼崎：日刊・北條直治  
 鳴門：報知・田代  
 丸亀：A  
 児島：S・O  
 宮島：B R宮島専属記者 宮崎経督  
 徳山：日刊・洲上

<b>宮島</b>	4/30 ~ 5/5	
創刊70周年記念 第54回サンケイスポーツ若葉賞		
◎	山口 剛	船岡洋一郎
○	大上 卓人	下寺 秀和
△	浜先 真範	西野 翔太
×	田中 辰彦	麻生 慎介
注	新田 泰章	宗行 治哉

**優勝候補筆頭は  
地元のエース・山口剛**

V筆頭候補は山口剛。これに船岡洋一郎、大上卓人とV戦常連組が加わり上位を形成。このメンバー相手に近況好調の浜先真範が食い込んでくることは間違いないだろう。一方でメキメキと力をつけてきている大原祥昌、津田陸翔のフレッシュルーキーに三馬崇史がどこまで好走できるのかも注目ポイントだ。

<b>丸亀</b>	5/4 ~ 9	
市制20周年記念 安岐真人杯争奪 瀬戸の大魔神大賞		
◎	片岡 雅裕	重成 一人
○	近江 翔吾	中村 日向
△	中村 晃朋	石丸 海渡
×	平高 奈菜	竹田 和哉
注	西岡 顕心	中田 元泰

**オール香川での争い  
片岡雅裕がエースの走り**

森高一真がF休みで不在なら片岡雅裕がエースの走りを披露だ。この後に当地SGオールスターも控えているだけに、いろんな意味で大事なシリーズとなる。重成一人が熟練の走りをみせる。近江翔吾ももちろんV争いに参戦。日向、晃朋のW中村に石丸海渡、竹田和哉、西岡顕心ら若手勢も力を付けている。

<b>徳山</b>	4/15 ~ 20	
KRY山口放送杯争奪戦		
◎	森野 正弘	森永 隆
○	里岡 右貴	近江 翔吾
△	作間 章	本多 宏和
×	牧 宏次	松崎祐太郎
注	郷原 章平	百武 翔

**森野正弘、森永隆の  
地元勢が中心**

V争いは森野正弘、森永隆の地元両者で一騎打ち。森野は3月の福岡で優出とリズムは上向き。森永も今年は当地正月シリーズを制するなど好調だ。里岡右貴、近江翔吾も当地で好結果を残すことが多く見せ場を作る。さばき堅実な作間章や、攻撃力高い本多宏和、攻めの迫力がある牧宏次も魅力たっぷり。

<b>児島</b>	5/2 ~ 7	
トランスワートトロフィー 2025 第41回鷺羽杯		
◎	茅原 悠紀	渡邊 和将
○	吉田 拓郎	藤原啓史朗
△	平尾 崇典	守屋 美穂
×	山口 達也	村岡 賢人
注	白神 優	藤原 碧生

**茅原悠紀VS地元A1級**

今年BBCトーナメントから始動した茅原悠紀だが、その初戦のシリーズで優勝。シリーズを引っ張り主役を務める。相手筆頭は渡邊和将だ。中国地区選を制し、尼崎周年は準Vと攻撃力を発揮して勢いがある。藤原啓史朗や吉田拓郎も速攻力を発揮して肉薄。守屋美穂は今年7連続優出で尼崎V。

<b>徳山</b>	4/26 ~ 5/1	
九州スポーツ杯争奪戦		
◎	白井 英治	大峯 豊
○	田中 和也	小池 哲也
△	清水 愛海	井本 昌也
×	入海 馨	島川 海輝
注	野田 彩加	佐々木裕美

**白井英治が  
地元決戦を圧倒する！**

白井英治は前々節に続く当地参戦。得意中の得意水面で堂々の主役だ。GI準優のFにより現在は一般戦が主戦となっているが、記念戦線に復帰するまでにリズムアップといきたいところ。大峯豊も打倒白井を目指して気合十分の走りを披露する。男女混合戦で清水愛海、野田彩加の活躍にも注目。

<b>宮島</b>	4/12 ~ 17	
広島ホームテレビプレゼンツ ういちの大ブッチギリイ祭		
◎	赤岩 善生	平田 忠則
○	三角 哲男	赤坂 俊輔
△	石塚 久也	今村 暢孝
×	小池 哲也	田中 辰彦
注	青木 玄太	福田 雅一

**V筆頭は赤岩善生だが、  
進入から激戦必至の対戦**

GI「宮島チャンピオンカップ」直後に争われる6日間決戦。主力は赤岩善生。今期も7点オーバーと安定した勝率を残している。対する平田忠則は今期8優出のV2と好リズムで、ベテランの三角哲男も5優出3Vと絶好調。ここにコース取り果敢な今村暢孝も加わり激戦必至の6日間となることは必至。

<b>徳山</b>	5/7 ~ 12	
くだまつ健康パーク杯争奪戦		
◎	前田 将太	渡辺 浩司
○	柳生 泰二	小林 泰
△	森永 隆	藤田 俊祐
×	福田 宗平	小山 勉
注	藤山 翔大	佐藤 大佑

**前田将太が  
当地連続Vへ躍動！**

前田将太は昨年12月に当地でV。その勢いに乗ってグランプリシリーズでSG初V。徳山は好相性で縁起のいい水面とも言え、今回も大暴れだ。渡辺浩司も水面相性は良くポスト前田の一番手。地元勢は柳生泰二、森永隆が意地の走りをみせるか。当地好相性の福田宗平、一発力ある藤山翔大にも注目。

<b>宮島</b>	4/22 ~ 27	
第52回岩田杯		
◎	茅原 悠紀	馬場 貴也
○	石野 貴之	塩田 北斗
△	金子 拓矢	興津 藍
×	須藤 博倫	三浦 永理
注	椎名 豊	藤山 雅弘

**茅原悠紀、馬場貴也、  
石野貴之が主力**

宮島伝統の一戦「岩田杯」らしいメンバー。男女混合の6日間シリーズだが、V候補は茅原悠紀、馬場貴也、石野貴之のSGタイトルホルダー。茅原は今年1月のBBCトーナメントを制して勢いづく、今期勝率9点オーバーと勢いは増すばかり。ただ今期の好調度で言えば5優出4Vの塩田北斗も注目だ。



<b>若松</b>	<b>5/4 ~ 9</b>	
ミッドナイトレースマンズスリーBOAT RACE杯		
◎	平田 忠則	赤坂 俊輔
○	渡邊 雄朗	森野 正弘
△	田口 節子	秋山 広一
×	山本 修一	原田 篤志
注	西丸 敦基	山下 夏鈴

**正月レース覇者の平田忠則が当地連覇を目指す**

平田忠則は中辻崇人ペラを手の内に入れて復活中で今年の当地正月戦も制覇した。チルト3度が使える当地では威力も倍増で連覇へ向けて突っ走る。赤坂俊輔、渡邊雄朗、秋山広一、山本修一らが2番手グループ。新エンジンになった昨年11月以降は女子の活躍が目立つだけに田口節子もV争いに絡みそう。

<b>下関</b>	<b>4/26 ~ 30</b>	
オープン6周年記念 モーヴィ下関杯 GW特選		
◎	海野康志郎	柳生 泰二
○	原田 篤志	森野 正弘
△	佐々木完太	森永 隆
×	渡邊 翼	山本 修一
注	白水 勝也	吉永 則雄

**海野康志郎を中心とした地元勢がV戦線をリード**

地元山口支部勢が強力布陣を形成。中でも注目は海野康志郎だ。昨年は当地8回の参戦で5優出1V。エンジン抽選運に恵まれない中で好走が光る。今年の正月シリーズでは1枠で優出も準V。今度こそVをつかむ。その正月戦で海野を破ったのが柳生泰二。一般戦に限れば当地8連続優出中と相性は抜群だ。

<b>芦屋</b>	<b>4/23 ~ 27</b>	
日本トーター杯争奪戦		
◎	池永 太	藤原啓史朗
○	稲田 浩二	田中信一郎
△	石塚 久也	中嶋健一郎
×	鶴本 崇文	東本 勝利
注	藤崎小百合	今井 美亜

**新エンジン-節目は地元池永太の気迫戦に期待**

新エンジン初おろしで整備に制限があるので調整の利がある地元勢が優位とみる。池永太や長野壯志郎だけでなく、藤崎小百合、深川麻奈美の女子勢も侮れない。自己最高勝率をマークする藤原啓史朗や近畿チャンプ稲田浩二、近況低調でも地力確かな田中信一郎も当然の優勝候補。期末の勝負駆けにも注目だ。

<b>下関</b>	<b>5/7 ~ 12</b>	
ウィナスシリーズ第4戦 Hayashikane杯		
◎	津田 裕絵	片岡 恵里
○	今井 裕梨	廣中智紗衣
△	原田 佑実	平田さやか
×	滝川真由子	蜂須 瑞生
注	寺島 美里	黒澤めぐみ

**地元の津田裕絵、片岡恵里に期待も大混戦**

とこなめGIIレディースオールスター直前開催でA1級は不在と大混戦ムードが漂うが、地元の津田裕絵と片岡恵里の奮起に期待したい。地元勢の脅威となるのが今井裕梨だ。昨年は2月多摩川、5月鳴門でV。今年も2月の江戸川で通算5度目となる優勝を果たした。安定感抜群の廣中智紗衣も争覇圏。

<b>芦屋</b>	<b>5/1 ~ 6</b>	
スポーツ報知杯争奪 ゴールデンウィーク特選		
◎	瓜生 正義	羽野 直也
○	新開 航	塩田 北斗
△	永田 啓二	渡邊 優美
×	松村 敏	高倉 和士
注	江夏 満	川野 芽唯

**瓜生正義を筆頭に地元強豪が熱戦展開**

現役最多の芦屋16Vを誇る瓜生正義が、植木通彦氏の17Vに並ぶかどうか熱視線が注がれる。芦屋育ちで次世代エース候補の羽野直也と新開航と3強を形成する。塩田北斗と渡邊優美の105期コンビも充実期に突入している。渡邊の他にも川野芽唯、小野生奈ら女子勢も豪華メンバーがそろっている。

<b>若松</b>	<b>4/18 ~ 21</b>	
ギラヴァンツ北九州杯		
◎	海野康志郎	中村 日向
○	木村 仁紀	杉山 貴博
△	中野 希一	吉永 則雄
×	向後 龍一	浅見 昌克
注	長谷川 暖	土井 歩夢

**前回当地戦Fの海野康志郎がリベンジを果たす**

昨年12月以来、4か月ぶりに海野康志郎が登場。その前は圧倒的な節イチパワーなのに準優でF。クラシック出場へ勝負駆けだったが、あまりにも痛いFになった。そのリベンジに燃えているはずだ。中村日向と木村仁紀が2番手グループ。A1級へ勝負駆け中の向後龍一、浅見昌克の埼玉コンビは注目。

<b>福岡</b>	<b>4/23 ~ 28</b>	
西日本スポーツ杯		
◎	高倉 和士	西村 拓也
○	岡村 仁	山本 寛久
△	森定 晃史	是澤 孝宏
×	中村 魁生	中 亮太
注	山ノ内雅人	石田 章央

**高倉和士が福岡で通算3回目の優勝を狙う**

昨年の戸田ダービーでSGデビューを飾った高倉和士は当地通算10優出2Vの実績。毎年夏場を苦にする傾向があるので気温の上昇を前に優勝回数を加算したい。荒れ水面を苦しめない岡村仁、西村拓也の大阪コンビが強敵。一昨年の当地周年覇者・山本寛久はA1級残留を懸けて期末勝負駆けを迎える。

<b>若松</b>	<b>4/24 ~ 29</b>	
スポーツニッポン杯 GW特選競走		
◎	前田 将太	篠崎 元志
○	岡崎 恭裕	水摩 敦
△	原田才一郎	渡辺 浩司
×	岡村 慶太	今井 貴士
注	溝口海義也	松崎祐太郎

**西山貴浩不在のGW戦は前田将太が主役候補**

若松の顔・西山貴浩がF休みで不参加なら、主役はこの人、前田将太しかない。今回の出場メンバー中、唯一のクラシック出場者でもある。脇を固めるのは篠崎元志と岡崎恭裕の2人。ここまでは福岡が純ホームの選手たちだが、若松純ホームの意地を水摩敦、原田才一郎、岡村慶太が見せてくれるかも。

# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

下関：西日本スポーツ・岡部  
若松：スポーツ報知・井上誠之  
若屋：スポーツ報知・井上泰宏  
福岡：スポニチ・鳥飼  
唐津：報知・高木  
大村：報知・長谷

<b>大村</b>	<b>4/14～18</b>	<b>徳増秀樹と林美憲の75期コンビが主力クラスか</b>
日本MB選手会会長杯		林美憲は当地を走る機会が多い。ただ、前は好素性32号機で1号艇ながらも優勝を逃した。徳増秀樹は昨年のBBCトーナメント以来の大村参戦。近況好リズムの古結宏は当地21年2月以来と久しぶりだ。三嵩誠司、岡村仁、前原大道にも注目。前回のリベンジ（低調機で大苦戦）に燃えるのが竹下大樹。
◎	徳増 秀樹 林 美憲	
○	古結 宏 三嵩 誠司	
△	岡村 仁 前原 大道	
×	大橋純一郎 北川 潤二	
注	四宮 与寛 竹下 大樹	

<b>福岡</b>	<b>5/3～8</b>	<b>博多では無類の強さを発揮する篠崎仁志を中心視</b>
どんたく特選レース		当地通算19Vと現役最多の優勝回数を誇る篠崎仁志が一步リード。近況記念戦線では思ったような成績を挙げられていないが、勝手知ったる得意水面で地方を発揮する。対抗格は中辻崇人。伸び型の調整がハマればピンラッシュに突入。池永太、松田大志郎も決め手があり、優勝争いに加わりそうだ。
◎	篠崎 仁志 中辻 崇人	
○	池永 太 松田大志郎	
△	石川 真二 古澤 光紀	
×	里岡 右貴 出畑 孝典	
注	長野壮志郎 石倉 洋行	

<b>大村</b>	<b>4/22～25</b>	<b>スーパースター峰竜太が4日間の一般戦に登場</b>
BTS鹿島開設10周年記念～肥前鹿島干潟杯～		峰竜太だけじゃないぞ。当地でGIV歴のある羽野直也もいる。そして、勝率7点台と好調な安河内健、豊田健士郎、板橋侑我までいる。主力の層は厚い。4日間の短期決戦だから、取りこぼしは許されない。地元は赤坂俊輔が踏ん張りどころだ。川野芽唯、関野文、金田幸子らの女子レーサーにも注目。
◎	峰 竜太 羽野 直也	
○	安河内 健 豊田健士郎	
△	赤坂 俊輔 板橋 侑我	
×	秦 英悟 下出 卓矢	
注	武田 光史 北川 太一	

<b>唐津</b>	<b>4/19～24</b>	<b>S/Gチャンプ遠藤エミが参戦の男女混合シリーズ</b>
西日本スポーツ杯		女子最強レーサーの遠藤エミが参戦の男女混合戦。遠藤のレース運びは男子顔負けで、永田啓二、村岡賢人、高橋竜矢、石丸海渡らを相手に好勝負を展開する。穴候補では長崎期待の女子レーサー森陽多が気になる。前回当地戦は低調機で苦戦したが、ツケマイのスピードは十分でダッシュ戦で見せ場作る。
◎	永田 啓二 遠藤 エミ	
○	高橋 竜矢 石丸 海渡	
△	村岡 賢人 金子 和之	
×	藤田 浩人 上瀧 絢也	
注	森 陽多 井上 遥妃	

<b>大村</b>	<b>4/28～5/3</b>	<b>正月レースに続いて地元戦Vを目指す桑原悠</b>
ミッドナイトボートレースin大村 2		原田幸哉はPGIマスターズチャンピオンを走るため、下條雄太郎はF休みで不在。そうなれば、ますます桑原悠に期待が懸かる。今年の正月レースは優勝。ミッドナイトで行われる地元戦連覇を目指す。村上遼も当然のことながら優勝候補。豪快なターンの山口真喜子も良機を引けば怖いぞ。
◎	桑原 悠 村上 遼	
○	坪口 竜也 山口真喜子	
△	石橋 道友 榎 幸司	
×	山口 裕二 今村 暢孝	
注	中村 辰也 米丸 乃絵	

<b>唐津</b>	<b>4/29～5/4</b>	<b>峰竜太、末永和也ら佐賀支部実力者が目白押し</b>
日本財団会長杯 ゴールデンウィーク唐津特選		71周年は途中帰郷の峰竜太だが実力は周知の通り。格上さばきで戦線を引っ張るが、周年を王道Vの末永和也に、定松勇樹、山田康二、宮地元輝、深川真二、上野真之介と上位陣の層は厚い。高田明は3月一般戦に続く地元連覇にトライ。からつフレッシュルーキーの上瀧絢也と田中宏典は存在感を示したい。
◎	峰 竜太 末永 和也	
○	山田 康二 宮地 元輝	
△	定松 勇樹 上野真之介	
×	安河内 将 安河内 健	
注	高田 明 田中 宏典	



<b>唐津</b>	<b>5/8～11</b>	<b>篠崎元志&amp;濱崎直矢の二枚看板が戦線を引っ張る</b>
唐津ミニット開設21周年記念		短期戦をリードするのは、からつ連覇に挑む篠崎元志と濱崎直矢になるが、近況の充実度は濱崎が目を見張る。鋭い行き足を武器に今年は3Vの活躍で1着率の高さは群を抜く。北山康介も抜群の安定感で勝率は自己最高ペース。地元の杉山勝匡も今期は上位着が飛躍的に増えていて注目の一人。
◎	篠崎 元志 濱崎 直矢	
○	北山 康介 長尾 章平	
△	井本 昌也 本多 宏和	
×	黒野 元基 植田 太一	
注	杉山 勝匡 田中 宏典	